

# 令和5年度 事業報告

本会は、スポーツを普及、振興し、県民のウェルビーイング向上とスポーツ精神の高揚を図り、明朗快活なスポーツ文化の進展に寄与するため、加盟団体をはじめ関係機関・団体等との連携・協働を図り、各種活動を積極的・効果的に推進した。

また、富山県スポーツ協会へ名称を変更し、副会長の増員、弁護士との顧問契約、倫理・コンプライアンス委員会の新設等、組織の体制と機能強化を図った。

さらに、新型コロナウイルス感染防止対策が5類に移行したことにより、利用人数等の制限を無くし各種事業を滞りなく展開した。

## I 法人運営

### 1. 諸会議等の開催

事業の適時適切な推進を図るため、次のとおり諸会議等を開催した。

会議名	回数	期 日	主な審議内容	
評議員会	1回	令和5年6月29日(木)	事業報告・決算	
	2回	令和6年3月31日(日): 書面審議	役員を選任	
理事会	1回	令和5年4月1日(土): 書面審議	副会長の選任 代表理事の選定	
	2回	令和5年5月26日(金)	事業報告・決算 役員・評議員の推薦	
	3回	令和5年6月26日(月): 書面審議	副会長の選任	
	4回	令和5年11月17日(金)	表彰者選考	
	5回	令和5年11月30日(木): 書面審議	表彰該当者の一部訂正	
	6回	令和6年2月13日(火): 書面審議	スポ安業務変更契約に係る対応事案	
	7回	令和6年3月22日(金)	事業計画・予算 スポ安業務変更契約に係る対応事案	
	8回	令和6年3月29日(金): 書面審議	役員を推薦	
専門委員会	総務委員会	1回	令和5年5月26日(金)	事業報告・決算 役員・評議員の推薦
		2回	令和5年11月17日(金)	表彰者選考
		3回	令和6年3月22日(金)	事業計画・予算 スポ安業務変更契約に係る対応事案
	普及委員会	1回	令和5年11月6日(月)	スポ協 TOYAMA 普及振興事業 スポ少事業等

	強化委員会	1回	令和5年4月14日(金)	強化事業について
		2回	令和5年8月9日(水)	未来のアスリート 19期生募集
		3回	令和6年1月18日(木)	未来のアスリート 19期生2次選考
	スポーツ医 科学委員会	1回	令和6年3月25日(月): 書面審議	事業報告・計画審議
	倫理・コンプ ライアンス 委員会	1回	令和5年9月4日(月)	委員長・副委員長の選任 加盟団体の処分基準
		2回	令和6年3月8日(金)	加盟団体の処分基準 スポ安業務変更契約に 係る対応事案
特別 委員 会	国民体育・ スポーツ大会 出場選手選考 委員会	1回	令和5年8月9日(水)	国体・国スポ選手選考
		2回	令和5年8月31日(木)	
		3回	令和5年12月21日(木)	
		4回	令和6年1月18日(木)	

## 2. 各種スポーツ関係団体の功労者及び優秀選手等の表彰

永年にわたり本県のスポーツ振興に貢献し、その功績が顕著と認められた者や本県のスポーツの向上に尽力し、その成績が特に優秀な団体及び個人を令和6年1月25日(木)に表彰した。

種 類	受賞者・受賞団体数	
特別表彰	個人 23 名	団体 2 団体
国体表彰	個人 11 名	団体 7 団体
感謝状	個人 29 名	—
計	個人 63 名	団体 9 団体

## 3. 顧問弁護士及び顧問税理士

新たに弁護士と顧問契約を交わし、加盟団体を対象とした無料法律相談会を年4回開催した。

また、競技団体の経理について、より適正に事務処理を行うため、適宜顧問税理士による経理指導を行った。抽出した富山県バレーボール協会ほか6団体について、令和5年11月10日(金)、15日(水)、11月17日(金)の3日間、税理士等により会計諸帳簿(現金出納簿や領収書等)検査を実施し、改善を要する事項等について個別指導を実施した。

## 4. スポーツガバナンスコード遵守状況

スポーツガバナンスコード(スポーツ庁策定・日本スポーツ協会決定: 本会向け17審査項目)について、令和6年3月26日に自己説明・公表(令和5年度分)した。

## II 公益目的事業

### 1. スポーツ普及振興事業

県民が生涯にわたりスポーツに親しめるよう、健康レベル・体力レベルに応じた事業を展開した。各事業の実施については、専門性を有する理事等による専門委員会及び特別委員会を構成し、意見等を反映しながら、各分野の資格を有する当協会の職員が中心となって各事業を企画・立案し、関係団体と連携を図りながら事業を行った。なお、指導者のスポーツ指導における暴力の根絶に向け、本協会が実施する各種研修会等あらゆる機会を通して、周知徹底を図った。

#### (1) 県民のスポーツ振興及び広報啓発事業

##### ① スポーツに関する広報啓発事業

各種イベントや行事予定など、スポーツに関する情報を広く県民に周知するために、次の広報誌等を作成するとともに、だれでも必要な情報等を簡単に検索できるよう、親しみやすいホームページの充実を図った。

#### ア. 広報誌の発行

名称	発行部数	配布先	発行回数	発行元
スポ協 TOYAMA	2,000 部/回	加盟団体、市町村教委、アスリート卒業生 ほか	年 1 回	県スポーツ協会
スポーツ パレス便り	2,000 部/回	市町村関係団体、県立学校ほか	年 11 回	県総合体育センター
ジムワールド	1,400 部/回	呉西地区県立学校、近隣企業ほか	年 4 回	県西部体育センター
HEALTH SWIM in TAKAOKA	1,800 部/回	県立学校、近隣企業ほか	年 4 回	県高岡総合プール
スポーツリーダー とやま	2,500 部/回	公認スポーツ指導者、加盟団体、市町村教委ほか	年 1 回	県公認スポーツ指導者協議会

#### イ. インターネットを利用した情報発信

各種スポーツ情報ネットワークの中核として、機能の充実を図った。

##### (ア) 本会HP上での各種スポーツ情報の発信

##### (イ) 地域スポーツ団体やスポーツ指導者パスネットとやまの情報発信

##### (ウ) メールを利用したスポーツに関する情報（JISS や日本スポーツ協会等）の発信

##### (エ) 上記（ア）～（ウ）と、スポーツ情報ネットワーク《県委託事業：県総合体育センター》を活用し、本県の各種スポーツ情報の充実を図った。

##### ② エンジョイスportsサポート事業

地域住民の誰もが参加できるスポーツ活動に対し助成を行い、スポーツに対する興味・関心を高めるとともにスポーツ人口の拡大を図った。

実施市町村	実施事業	参加者数
富山市ほか 8 市町村	バスケットボール教室&いのちの教室 ほか 11 事業	1,663 名

③ 生涯スポーツ推進事業

県民が生涯にわたり、明るく豊かで、活力ある生活を営むために、それぞれの興味、関心、適性等に応じてスポーツを生活の中に位置づけ、主体的にスポーツ活動を楽しむことができる環境づくりの推進を図った。

ア. 巡回指導・視察 スポーツクラブ入善 ほかに14箇所

イ. 研修会の開催

(ア) 地域スポーツ指導者研修会

期 日	会場・講師・内容	受講者数
令和5年7月9日(土)	県総合体育センター 小川 耕平 氏 NPO 法人笑顔スポーツ学園 理事長 実技・講義 ・子どもの体力の現状とその要因について ・発育発達の仕組みについて	23名
	県総合体育センター 村井 玉枝 氏 (一社) けいらくビクス協会代表理事 けいらくビクスディレクター 実技・講義 『「けいらく」を取り入れたエアロビクス運動けいらくビクス®による内臓と心身の活性化～考え方、動き方、効果を学ぼう～』	34名

(イ) 地域スポーツスキルアップ研修会 ※富山県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会と共同開催

期 日	会場・講師・内容	受講者数
令和5年11月3日 (金・祝)	県総合体育センター 小出 利一 氏 NPO 法人新町スポーツクラブ 理事長 講演 「どうなる！？総合型地域スポーツクラブ」	17名
令和6年2月25日(日)	県総合体育センター 澁谷 茂樹 氏 (公財) 笹川スポーツ財団 シニア政策ディレクター 講演 「地域の青少年スポーツのこれから」	10名

(ウ) (公財) 日本スポーツ協会公認アシスタントマネージャー養成講習会(専門科目)

期 日	会場・講師・内容	受講者数
令和5年12月9日(土) ～10日(日)	県総合体育センター 富山大学 准教授 神野 賢治 氏 「生涯スポーツ論」 ほかに10講座	21名

ウ. スポーツ指導者パスネットとやまの運用

「スポーツ指導者パスネットとやま」登録者情報を更新するとともに、指導依頼の問い合わせ（照会）に関する連絡・調整をした。

エ. 総合型地域スポーツクラブ登録・認証制度登録審査委員会

令和6年度登録について県内60クラブに案内し、30クラブから申請があった。登録審査委員会を令和6年1月24日（水）に開催し、登録27クラブ、登録準備段階である準登録3クラブを承認した。

(2) 県民体育大会開催事業

広く県下にスポーツを普及・振興し、県民の健康と体力の増進並びに競技力の向上を図り、明るく豊かな県民生活の創造に寄与するため、次のとおり開催した。

① 第76回富山県民体育大会（夏季競技）

季	競技	期日（中心会期）	会場	参加者数
夏季	陸上競技 ほか41競技	令和5年7月22日（土） ～7月24日（月）	富山市 ほか9市3町	21,777名

大会成績 （二部郡市対抗）	区分	1位	2位	3位
	一般	富山市	高岡市	射水市
	中学	富山市	高岡市	南砺市

② 第77回富山県民体育大会（冬季競技）

季	競技	期日	会場	参加者数
冬季	スケート競技 ほか2競技	令和5年10月28日（土） ～令和6年2月12日（日）	富山市 ほか1市	728名

(3) スポーツ指導者の養成

① スポーツ指導員養成講習会開催事業

県民のスポーツニーズが多様化する中で、専門性をもった指導員の養成が望まれているところであり、（公財）日本スポーツ協会公認スポーツ指導者制度の資格取得講習会を開催した。

ア. 日本スポーツ協会公認指導者養成講習会

期日	資格名	競技名	会場	参加者数
令和5年8月14日（土） ～令和6年2月25日（日）	コーチ1	バレーボール ほか 2競技	県総合体育センター ほか 3会場	59名
令和5年10月28日（土） ～令和5年12月3日（日）	コーチ2	空手 共通科目Ⅱ	黒部市立前沢公民館 ほか 1会場 県総合体育センター	66名

イ. 富山県公認スポーツ指導者研修会

期 日	会場・講師・内容	受講者数
令和5年12月3日(日)	富山大学 黒田講堂(五福キャンパス) 【講演Ⅰ】 下条 竜一 氏 富山大学附属病院 整形外科 診療教授 「女性アスリートの疲労骨折を含めた下肢のスポーツ障害」 【講演Ⅱ】 高浪 友之 氏 富山県義肢製作所 中敷き・靴の専門店 第一製造部課長 「靴の選び方 履き方」	249名

(4) スポーツ少年団育成事業

日本スポーツ少年団が掲げる「一人でも多くの青少年にスポーツの喜びを提供する」、「スポーツを通して、青少年のからだところを育てる」という理念に基づき、本会が設置する富山県スポーツ少年団において、地域社会全体で子どもたちを育て、将来にわたり健全な生活を送れるよう、各種事業を展開した。

① 組織の充実

ア. 組織の整備強化

(ア) スポーツ少年団指導者顕彰事業

期 日	会 場	受賞者数
令和6年2月25日(日)	県総合体育センター	3名

イ. 活動の充実

(ア) 富山県スポーツ少年団競技別総合交流大会

期 日	実施競技	会 場	参加者数
令和5年6月3日(土) ～11月12日(日)	サッカー競技 ほか 11競技	富山市 ほか5市1町	2,498名

(イ) 地域交流促進事業

期 日	実施スポーツ少年団	会 場	参加者数
令和5年7月22日(土)～ 令和5年11月11日(土)	・富山市 ・氷見市 ・射水市 ・南砺市(2事業) ・魚津市 ・砺波市 ・滑川市	常願寺川公園ラグビー場 氷見市 長野県千曲市 香川県多度津町 石川県金沢市 鹿児島県薩摩川内市 県西部体育センター 滑川市立南部小学校	766名

(ウ) 母集団育成事業

期 日	実施スポーツ少年団	参加者数
令和5年12月21日(木)～ 令和6年2月24日(土)	上市町、氷見市、射水市	124名

② 指導体制の整備

ア. 各種講習会・研修会

(ア) 第6回ジュニアスポーツフォーラム指導者全国研究大会

期 日	開催地	参加者数
令和5年6月18日(日)	東京都・オンライン	3名

(イ) 北信越ブロックスポーツ少年団指導者研究協議会

期 日	開催地	参加者数
令和5年11月25日(土)	長野県	7名

(ウ) 富山県スポーツ少年団指導者研修会

期 日	会場・講師・内容	受講者数
令和6年2月25日(日)	県総合体育センター 細田 千尋 氏 東北大学大学院情報科学研究科 准教授 「スポーツ指導と脳科学」 澁谷 茂樹 氏 (公財)笹川スポーツ財団 シニア政策ディレクター 「地域の青少年スポーツのこれから」	55名

イ. スタートコーチ(スポーツ少年団)養成講習会

期 日	会場・内容	受講者数
令和5年10月6日(金) ～11月6日(月)	オンライン	91名
令和5年11月12日(日)	県総合体育センター グループワーク	

③ 交流活動の推進

ア. 国際交流の推進

日独スポーツ少年団同時交流

期日 開催地	第50回日独スポーツ少年団同時交流	
	派遣事業	受入事業
	なし	8月1日(火)～5日(土) 高岡市 10名

イ. 全国的・地域的交流の推進

(ア) 全国交流大会

期 日	実施競技	開催地	参加者数
令和5年8月11日(金) ～8月13日(日)	ホッケー	東京都	54名
令和6年3月29日(金) ～3月31日(日)	剣道	群馬県	8名
令和6年3月28日(木) ～3月31日(日)	バレーボール	宮城県	11名

(イ) 北信越ブロック交流大会

期 日	実施競技	開催地	参加者数
令和5年7月1日(土) ～11月12日(日)	軟式野球競技 ほか4競技	石川県 ほか1県	62名

(5) 総合型地域スポーツクラブ連絡協議会運営事業

令和5年度登録24クラブ、準登録3クラブが(令和4年11月1日～令和6年3月31日認定)総合型地域スポーツクラブの公益性を地域社会に周知するとともに、地域課題の解決、各クラブの安定的な運営を目指し、各種事業を展開した。

① 組織の充実

地域スポーツクラブ推進体制基盤強化事業

期 日	実施クラブ	参加者数
令和5年4月3日(月)～ 令和6年1月28日(日)	富山市・NPO法人富山スイミングクラブ ほか 6市1町1村 18クラブ	5,294名

② 交流活動の推進

とやま週イチスポーツ推進事業

期 日	実施クラブ	実施事業	参加者数
令和5年7月1日(土) ～12月27日(水)	NPO法人クラブ Joy ほか 8クラブ	基本のソフトテニス教室 ほか 15事業	2,090名

③ クラブ活動活性化の推進

富山県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会研修会【再掲】

期 日	会場・講師・内容	受講者数
令和5年11月3日(金・祝)	富山県総合体育センター 小出 利一 氏 NPO法人新町スポーツクラブ 理事長 「どうなる！？総合型地域スポーツクラブ」	17名

(6) 県民スポーツ機会の創出事業(「Enjoy!スポーツとやま」の開催)

県民のスポーツ活動への参加を促進するため、体験型のスポーツイベントを開催し、日常的に運動やスポーツに取り組む機運や意欲を高め、県民がスポーツに親しむ機会を創出した。



① 運動やスポーツに親しむ機会の提供

期 日	会場・内容・実施クラブ	参加者数
令和5年9月24日(日)	富山市総合体育館、富山市親水広場 富岩運河環水公園、富山駅南北自由通路 ①スポーツ教室：9団体 10教室 ②スポーツ体験：22団体 ③プロモーター：1名 ④出店ブース等：12団体 総合型スポーツクラブ：10クラブ 競技団体：6団体 生涯スポーツ協議会：7団体 障害者スポーツ協会：2団体	3,073名 (延べ人数)

(7) アスリート(中学生年代等)の普及・強化事業

段階的に地域のスポーツ団体などに部活動を移行する「部活動の地域移行」が実施されることを受け、地域移行の課題、実施していくために必要なことなどについて検討する。

① 情報交換会の開催

各市町村における部活動改革に伴う中学生年代のスポーツ環境の現状や課題について、市町村体育スポーツ協会と情報共有し、中学生年代の育成、強化について検討した。

期 日	会場・内容	参加者数
令和6年2月29日(木)	富山県総合体育センター 会議室 「中学生年代のスポーツ環境に関する 情報交換会」 〈参加者〉市町村体育・スポーツ協会 事務局ほか	19名

② 中学生年代振興事業

これまで中体連に配分していた強化費を中体連加盟競技の競技団体に配分し、中学生年代の育成・強化を図った。

2. スポーツ強化推進事業

国民体育大会や全国大会等で優秀な成績を収めることは、県民に大きな夢と感動を与え、大きな活力となる。このことから、国民体育大会をはじめ、全国や世界の檜舞台で活躍できる選手の育成を目指し、関係団体と連携を図りながら、合宿・遠征事業をはじめ各種強化事業を実施し競技力向上に努めた。

(1) 県民の競技力向上の推進

① 国民体育大会等開催事業

ア. 第44回北信越国民体育大会

第44回北信越国民体育大会(新潟県開催)は、31競技40会場で開催された。

(ア) 大会概要

会 期	早期開催 令和5年5月6日(土)～8月20日(日) 中心会期 令和5年8月25日(金)～27日(日)
開催地	新潟県下11市2町 石川県1市 富山県1市 長野県2市
実施競技	カヌー競技 ほか30競技
参加人数	選手・監督705名 本部・顧問19名 計724名

(イ) 選手団等

喜多 進 団長 ほか723名

特別国民体育大会本大会ブロック代表数 46代表獲得

イ. 特別国民体育大会・国民スポーツ大会

特別国民体育大会本大会は、男女総合成績（天皇杯）は37位、女子総合成績（皇后杯）は25位でした。

また、第78回国民スポーツ大会冬季大会のスケート競技会・アイスホッケー競技会は北海道苫小牧市、スキー競技会は山形県山形市・上山市・最上町で開催され、冬季大会終了時点で男女総合成績は18位でした。

(ア) 大会概要

回	季		期 日	開催地 (参加者数)	成 績
特別	本大会	会期前	令和5年9月16日(土) ～9月24日(日)	鹿児島県 (385名)	入賞数 61 <sup>※</sup>
		中心会期	令和5年10月7日(土) ～10月17日(火)		
78	冬季大会	スケート・ アイスホッケー	令和6年1月27日(土) ～2月3日(土)	北海道 苫小牧市 (30名)	入賞数 5
		スキー	令和6年2月21日(水) ～2月24日(土)	山形県山形市・ 上山市・最上町 (65名)	入賞数 10 <sup>※</sup>

※競技別総合成績を含む

(イ) 選手団等

本大会 新田 八朗 団長 ほか384名

冬季大会

・スケート・アイスホッケー競技会 田中洋一郎 団長 ほか29名

・スキー競技会 田畑 裕明 団長 ほか64名

② 競技力向上事業

ア. 国体・国スポへ向けた選手強化

(ア) 合宿・遠征事業

強化指定選手等の強化を図るため、県内合宿・県外遠征・県外優秀チーム招へいを計画的に実施した。

(イ) 強化指定事業

選手指定：少年種別 37 競技 544 名 成年種別 41 競技 547 名 計 1,091 名

スタッフ指定：41 競技 総監督 26 名 各種別監督 108 名 コーチ 76 名 計 210 名

(ウ) アドバイザー・トレーナー招へい事業

7競技に7名のアドバイザー、20競技に24名のトレーナーを招へいし、強化練習会等で指導を受け、県内指導者の資質の向上と本県選手の競技力向上を図った。



(イ) 特別プログラム (NTC視察代替事業)

県内プロチームに学ぶ ～アランマーレ富山編～

期日：令和5年12月2日(土)

場所：県総合体育センター

内容：ウォーミングアップ(フィジカル：ベーシックトレーニング)

ボールを使ったトレーニング(スキル系)

ハンドボール ゲーム体験 等

人数：18期生44名(男子25名・女子19名)

イ. 19期生55名(令和5年度5年生)とジュニア指定者8名(令和5年度4年生)

19期生は、4月からプログラムを開始する計画で、募集選考を行った。ジュニア指定者については、競技団体からの推薦を受けた児童について書類選考を行った。

実施内容	実施日	会場
第1回企画委員会	令和5年7月6日(木)	県総合体育センター
第2回企画委員会(1次選考)	令和5年12月14日(木)	
測定会(2次選考に向けた)	令和5年12月26日(火)	
第3回企画委員会(2次選考)	令和6年1月18日(木)	
体力測定・オリエンテーション	令和6年2月4日(日)	
第4回企画委員会	令和6年3月25日(月)	

ウ. 奨励賞受賞者の選考

1期生から17期生の修了生を対象に、各種スポーツ大会で活躍し、その功績が顕著と認められた3名を選考した。

エ. 修了生サポートプログラム

体力測定2回(8月・3月)146名

メンタルトレーニング・コンディショニング講習1回 32名

オ. 修了生活躍状況の掲示

県総合体育センター正面入口横にボードを設置し、修了生の活躍状況を掲示した。

※現在18期生まで累計1,159名(うち日の丸をつけた選手50名)

④ 競技スポーツ振興事業

小学生、中学生を対象に、スポーツ教室、記録会及び練習会を実施し、競技スポーツに対する興味・関心を高めることにより、競技スポーツ人口の拡大を図った。

内容	競技数	参加者数
記録・練習会	スケート競技 ほか35競技	12,418名
教室	スケート競技 ほか18競技	6,543名

⑤ TOYAMAアスリートマルチサポート事業

本県競技力の一層の向上を目指し、各種強化事業と併せ、選手の発育・発達段階に応じた適切で、より効果的な医・科学サポートを実施するとともに、県総合体育センター、県西部

体育センター及び県高岡総合プールと連携し、選手へのサポート体制のさらなる拡充に努めた。さらに、監督はじめコーチ・スポーツドクター・トレーナー等と連携を図りながら、個々の選手の体力測定結果等に基づくスポーツ医・科学的サポートを積極的に展開し、全国や世界の檜舞台で活躍できるアスリートの育成に取り組んだ。

また、国（スポーツ庁）が競技力向上事業の一環として進めている「ハイパフォーマンスセンターネットワークの構築」事業において日本スポーツ振興センターからHPSC（ハイパフォーマンススポーツセンター）ネットワーク機関（アスリート支援：体力測定）に県総合体育センターが指定（令和4年10月26日～令和10年3月31日）され、ナショナルチーム受入のための環境整備等に関してHPSCスタッフと検討を行った。

ア. 委員会等の開催

会議名	期 日	実施内容
委員会	令和5年5月19日（金）	R4 事業報告・R5 事業計画
	令和6年1月19日（金）	次年度事業の一部見直しについて
スタッフ ミーティング	令和5年7月13日（木）	インソールの活用について
	令和5年11月29日（水）	次年度以降の事業の見直しについて①
	令和5年12月12日（火）	次年度以降の事業の見直しについて②
	令和6年3月16日（土）	競技場面における映像によるフォーム分析

イ. サポート内容

区分	主な内容	人数・回数等
医・科学サポート	メディカルチェック 栄養サポート メンタルサポート アンチ・ドーピング研修	20 競技 27 種目 772 名
サポートスタッフ 中央講師の派遣	大会・強化合宿への スタッフ派遣	大会 101 日 強化合宿 33 日
調査・研究	HPSCとの連携	2 回 (ハイパフォーマンススポーツセンター ネットワーク連携機関「JISS フィット ネスチェック」ほか)

ウ. スタッフ研修

期 日	会場・内容	参加者
令和5年6月18日（日）	NSCA ジャパン S&C フォーラム 2023 オンライン参加	専門員 1 名
令和5年9月2日（土）	NSCA ジャパン Human Performance Center（千葉県） HPC スポーツコーチングセミナー	指導員 1 名
令和5年9月16日（土）		
令和5年9月30日（土）		

⑥ スポーツ医・科学研修会等開催事業

ア. アンチ・ドーピング教育・啓発

国体・国スポ選手を中心としたアンチ・ドーピング教育及び啓発活動の実施を通して薬物乱用や誤用の認識を高めるため、強化指定選手、指導者及び保護者等を対象とした講習会を県総合体育センターほか5会場で開催し、健全なスポーツ活動を推進した。

期 日	競技団体	講師	参加者数
令和5年7月1日(土)	体操協会	富山県薬剤師会 藤岡俊太郎 氏	12名
令和5年7月9日(日)	卓球協会	富山県薬剤師会 青塚 保志 氏	23名
令和5年7月24日(月)	ラグビーフットボール協会	富山県薬剤師会 宮林 紀子 氏	47名
令和5年9月2日(土)	ローイング協会	富山県薬剤師会 濱田朱美子 氏	43名
令和5年9月3日(日)	セーリング協会	富山県薬剤師会 青塚 保志 氏	12名
令和5年12月10日(日)	カヌー協会	富山県薬剤師会 宮林 紀子 氏	16名

イ. 問診票による健康診断

県スポーツ協会が指定する強化指定選手及び国民体育大会・国民スポーツ大会選手1,298名に対し、問診票による健康状態調査を実施した。女性アスリートには、女性アスリート用の問診票も活用している。

⑦ 全国的大会等開催助成事業

全国的・国際的大会や日本リーグ等レベルの高い大会への開催運営費を補助した。

実施期間	令和5年4月～令和6年3月
実施競技	スポーツクライミング第11回リードユース日本選手権 ほか9大会

⑧ 海外派遣選手激励事業

スポーツをする選手たちに夢と希望をあたえるとともに、スポーツ人口の拡大に繋げることを目的に、国際大会へ日本を代表として出場する選手・監督に激励費を渡した。

国際大会	助成大会	FIS フルトレイン 30th ウィンターカップ 2023 (スキー) ほか15大会
	派遣人数	延べ 22名
	派遣先	カナダ ほか 13ヶ国

⑨ スポーツ交流事業

新型コロナウイルス感染症拡大防止の影響で中止

### 3. スポーツ施設を活用した各種事業と効率的な管理運営

県民が安全かつ快適にスポーツができるよう県総合体育センターをはじめとするスポーツ施設の環境を整え、県民の生涯スポーツの普及振興を図るとともに、健康・体力・生きがいつくりに寄与するため、次の各種事業を実施した。

(1) スポーツ施設等を活用した各種事業と効率的な管理運営

① スポーツ施設管理運営事業

施設管理業務とスポーツ振興のソフト事業を一体的に推進するとともに、効果的かつ効率的なサービスの提供に努めた。また、スポーツ人口の拡充を図るため、利用者のニーズに合わせた管理運営を実施した。

利用人数は前年度比、約7.4%増加したものの、令和元年度(ピーク時)と比べると約85%に留まった。

ア. 県営体育施設(指定期間3年間 令和5年4月～令和8年3月)

施設名	利用人数	施設名	利用人数
県総合体育センター	235,569名	県西部体育センター	105,078名
県高岡総合プール	87,729名	県営富山弓道場	12,255名
県漕艇場	14,143名	県上市カヌー競技場	3,500名
計		458,274名	

イ. 県スポ協体育施設

施設名	利用人数	施設名	利用人数
アオイスportsハウストレーニング場	7,455名	山野スポーツセンター	3,308名
屋内相撲練習場	353名		
計		11,116名	

(2) 各種スポーツ教室開催事業

スポーツを始めるきっかけと楽しむことができる場を広く提供するとともに、それらによって作られた自主グループ活動の支援を行うために、次の各種教室を展開した。

スポーツ教室開催事業の実施状況

施設名	教室	実施回数	延べ受講者数
県総合体育センター	親子チャレンジ ほか1教室	52回	1,563名
県西部体育センター	Enjoyバドミントン ほか3教室	53回	507名
県高岡総合プール	初級スイム ほか52教室	1,477回	19,344名
県営富山弓道場	弓道教室	94回	1,449名
県漕艇場	ボート教室	中止	中止
県上市カヌー競技場	カヌー体験教室	15回	278名
計		1,687回	23,125名

### Ⅲ 収益目的事業

本会が管理運営する県総合体育センターほか5施設に自動販売機を設置し、飲料等を提供した。

また、本会の公益目的事業の推進に資するための付随事業として、日頃スポーツに親しみのない県民がスポーツ施設を知っていただくことで、今後のスポーツ活動に拍車をかけるとともに、個々の体力に応じてスポーツに親しむ契機になることを期待し、管理運営するスポーツ施設の会議室等を公益目的事業以外で貸与した。